

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3073098号
(U3073098)

(45)発行日 平成12年11月14日 (2000.11.14)

(24)登録日 平成12年8月30日 (2000.8.30)

(51)Int.Cl.
F 21 L 4/00
// H 05 B 37/02

識別記号

F I
F 21 L 7/00
H 05 B 37/02

S
C

評価書の請求 未請求 請求項の数1 書面 (全4頁)

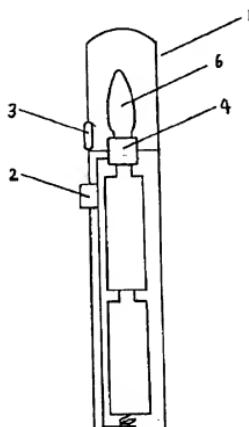
(21)出願番号	実願平11-10061	(73)実用新案権者 599087213 大澤 敏雄 埼玉県加須市土手一丁目十一番十九
(22)出願日	平成11年12月7日 (1999.12.7)	(72)考案者 大澤 敏雄 埼玉県加須市土手一丁目十一番十九

(54)【考案の名称】 遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライト

(57)【要約】

【課題】 遠隔より、点燈している光源の切り替えをコントロールし、点滅させたり、元の点燈に戻すことが自在にできる、遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライトを提案すること。

【解決手段】 遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライト1は、光源のスイッチ2の他に、赤外線感知装置3、点滅制御装置4を搭載している。赤外線発射装置5より意図的な赤外線を発射することにより、赤外線感知装置3がその赤外線を感知し、点滅制御装置4に指示を与え、点燈している光源6を点滅させたり、元の点燈状態に戻したりコントロールできる。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 このベンライトは、既に点燈している光源に、外部（遠隔）から発射された赤外線の指示を赤外線感知装置が感知し、点滅制御装置に指示を与え、光源が点滅したり、点滅せず元の点燈状態に戻すことをコントロールできる、遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ベンライト。

【図面の簡単な説明】

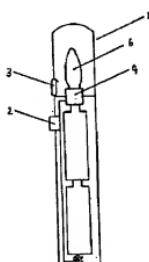
【図1】 本考案を適用した遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ベンライトの例を示す概略図であ

* 【図2】 本考案を適用した遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ベンライトと赤外線発射装置とのシステム図である。

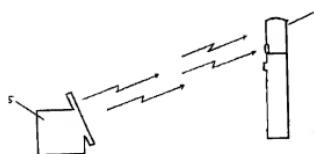
【符号の説明】

1	遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ベンライト
2	光源のスイッチ
3	赤外線感知装置
4	点滅制御装置
5	赤外線発射装置
10	光源
11	*

【図1】



【図2】



【手続補正書】

【提出日】 平成12年3月29日 (2000. 3. 29)

9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 実用新案登録請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 (イ) 遠隔から発射された赤外線を感知する赤外線感知装置を持つ。

(ロ) 点燈している光源を、点滅したり、元の点燈状態に戻す点滅制御装置を持つ。

(ハ) 赤外線感知装置が、遠隔から発射された赤外線を感知すると、点滅制御装置が作動する。

以上(イ)、(ロ)、(ハ)の構造から成る遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ベンライト。

BEST AVAILABLE COPY

BEST AVAILABLE COPY

【考案の詳細な説明】**【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案は、光源の点滅を外部（遠隔）よりコントロールできる、遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライトに関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

コンサート会場等で、光源が点燈状態か、点滅状態かのどちらか一方、あるいは、両方を備えている場合でも、使用者本人が手動でそのスイッチを切り替えるペンライトが実用化されている。

【0003】

この遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライトを、コンサート会場等での、応援道具（グッズ）として用いれば、コンサート等の主催者側の意志で意図的にペンライトを点滅させることができる。

【0004】**【考案が解決しようとする課題】**

しかし、ペンライトを使用者本人が点滅させたり、それを止めたりしたのではなく、使用者に主催者側の意志を伝えることや、感動を与えることができない。

【0005】

本考案の課題は、その点を考慮し、ペンライト使用者に感動を与えるよう、外部（遠隔）よりペンライトの点滅をコントロールできるシステムを構築することにあり、詳しくは、従来よりも演出効果のある、遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライトを提案することである。

【0006】**【課題を解決するための手段】**

上記の課題を解決するために、本考案では赤外線を利用して、外部（遠隔）よりスイッチをコントロールできる、遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライトを実現する。

【0007】

従って、この遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライトは、遠隔より発射された赤外線を感知する赤外線感知装置と、光源の点滅制御装置を備え、少なくとも遠隔より光源の点滅をコントロールできる機能を有することを特徴としている。

【0008】

【考案の実施の形態】

図1で、本考案を適用した遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライトの概略を示してある。この図の示すように、本例の遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライト1は、光源のスイッチ2を有し、通常のペンライトとして機能するものである。

【0009】

遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライト1は、光源のスイッチ2の他に、外部（遠隔）より発射された赤外線を感知する赤外線感知装置3と、光源6の点滅を制御する点滅制御装置4を備えており、外部（遠隔）の赤外線発射装置5より意図的な赤外線を発射することにより機能し、外部（遠隔）より自動的に光源6の切り替えが可能となる。

【0010】

コンサート会場等で、遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライト1を光源6を点燈した状態で使用している時、主催者側が遠隔より意図的な赤外線を発射すると、遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライト1が点滅したり、元に戻って点燈状態になったり、主催者側の意志でコントロールできる。

【0011】

【考案の効果】

以上説明したように、本考案の遠隔赤外線システムスイッチ式の自動点滅制御型ペンライトは、主催者側の意志を伝える手段として、点燈している光源が点滅することを利用すると、それを所持し使用している者と主催者側との気持ちが一体化するなど、より感動を与える演出効果を生む道具となる。